



エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取組～

平成29年10月31日

環境大臣 中川 雅治 殿

住友ゴム工業株式会社
代表取締役社長

池田 育嗣

1. 低炭素社会の構築に向けた取組を積極的に推進します。

- グローバルで販売する乗用車用タイヤ1本あたりのライフサイクルにおけるCO₂排出量を2022年に2005年比14%以上削減します。

当社グループでは、グローバルで低燃費タイヤのラインアップ充実と拡販に努め、原材料調達、タイヤの生産、輸送、タイヤ使用、廃棄およびリサイクルのライフサイクルにおけるCO₂排出量の削減に貢献します。

2. 循環型社会の形成に向けた取組を積極的に推進します。

- 国内・海外の関係会社を含む主要生産拠点において、廃棄物の直接埋め立て量の「完全ゼロ」を2020年まで継続します。

国内・海外の関係会社を含む主要生産拠点において、2010年に廃棄物の直接埋め立て量を「ゼロ」にし、業界に先駆けて再資源化率100%を達成しました。引き続き2020年までこれらの拠点で「完全ゼロ」を継続します。

- 2020年までにモデル工場で工場排水の100%リサイクル技術を確立します。

当社グループでは、2050年までに全工場において工場排水の100%リサイクルを目指しています。この長期目標を達成するために、2020年までにモデル工場において排水リサイクル技術を確立します。

3. 自然との共生を進め、生物多様性保全に配慮した取組を推進します。

- どんぐりプロジェクトを中心にした森づくり活動を進めます。

全国11カ所の活動拠点で、地元で集めたどんぐりを苗木に育て、地元へ植樹する「どんぐりプロジェクト」を中心とした活動を推進します。これらの活動を毎年20回以上行い、生物多様性豊かな森づくりを進めます。

- 生物多様性に配慮したさまざまな取組みを積極的に展開します。

絶滅危惧種の保護育成、里山保全活動、ビオトープづくりなど生物多様性保全を目的とした活動を各拠点で積極的に展開します。

住友ゴム工業株式会社は、上記取組の進捗状況を確認し、その結果について住友ゴムグループ報告書などで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。



住友ゴム工業株式会社